

口除雪などの課題を継続して調査・研究・協議していきます。

今冬の道路除雪は、昨年同様、小坂まちづくり株式会社などに業務を委託して実施するほか、大地自治会では今年度も地域内の除雪を実施します。また、除雪路線の一部を見直して除雪作業の効率化を図りつつ、地域の要望を受けながら対応していきます。

さらに、町内道路の除雪がスムーズに進むように、国道・県道を管理する県との連携をより一層深めていきます。

▼令和3年度米の生産状況

令和3年度米の生産については、需要に応じた米生産に生産者自らが取り組みを行う新たな枠組みである「生産の目安」を参考とした生産計画の4年目になりました。

主食用米の生産状況は、県が示す「生産の目安」をもとに、鹿角地域農業再生協議会で鹿角地域の「生産の目安」が算定され、町の主食用米の目安数量は1,131トン、目安面積換算では216.6ヘクタール、目安率は53.95%で、各農家には目安率に応じた個別目安となる

面積等をお知らせしました。

各農家から水稻生産実施計画書を提出してもらい、農林班で春・夏・秋の転作物等取組状況の現況を確認した結果、町の主食用米の最終取組面積は前年より45.8ヘクタール減の165.0ヘクタールとなり、町の生産の目安は達成しております。主な転換先は飼料用米で前年より36.3ヘクタール増えました。

次に、米の集荷状況は11月12日現在で9,696俵の集荷量となりました。農家からの予約申し込み数量は9,146俵でしたので、出荷率は106.0%となりました。

また、町の1等米比率は11月12日現在で88.7%でした。なお、鹿角市は92.0%で、東北農政局発表の秋田県産水稻うち玄米1等米比率は9月末現在で92.5%となっています。

▼地域応援商品券・宿泊支援助成券の使用状況

地域応援商品券は、対象者4,669人(2,219世帯)に、1人につき1万2千円分の商品券を送付しました。その内、2千円分は飲食店専用券にしています。

使用状況としては、送付枚数5万6,028枚の内、5万

5,333枚が使用され、利用率は98.8%でした。なお、飲食店専用券の使用割合などの詳細な使用状況は現在集計中ですので後日報告します。

宿泊支援助成券は、応募した秋田県民を対象に、5千円券5,000枚を抽選により交付しました。9,967通の応募があり、当選者2,503人を抽選により決定しています。

宿泊支援助成券は使用期限を11月末としているため、10月末現在の利用状況を報告します。十和田湖地区で4,049枚、その他の地区で56枚、計4,105枚が利用され、利用率は82.1%です。

地域応援商品券・宿泊支援助成券ともある程度利用されていることから、一定の経済効果が図られたと考えています。

縮小して開催しました。

作品・活動展示には、町民や団体の作品のほか、町内保育所や小・中学校の作品など、昨年以上の出展がありました。

発表は「太極拳」と「アカシア太鼓」が披露され、コロナ禍で発表の機会が無くなる中、来場者はすばらしい演舞・演奏を楽しんでいました。

また、23日は小学校体育館で小坂小学校の学習発表会、24日はセバームのアリーナで小坂中学校の合唱コンクールと坂中祭が同時開催され、まなびピアにも多くの保護者が訪れました。

両校のステージ発表では、ふるさと小坂についての発表や、劇、ダンスなど、小中一貫教育校としてのふるさとキャリア教育の成果が見られ、観客をおおいに感動させてくれました。

教育委員会では、今後も生涯学習に関する事業をより充実させ、学校と連携して「まなびピア」が幅広い世代の発表の場、多くの町民が集う世代間交流の場として発展するよう努めます。

主な議決事項

● 条例の一部改正

◆ 職員の定年等に関する条例
◆ 小坂町職員の給与に関する条例
条列

◆ 小坂町議会の議員の議員報酬等に関する条例
● 補正予算
【令和3年度】

◆ 一般会計(第6号)

◆ 国民健康保険特別会計(第2号)

◆ 後期高齢者医療特別会計(第1号)

◆ 介護保険特別会計(第3号)

◆ 歯科診療所特別会計(第1号)

◆ 下水道事業特別会計(第1号)

◆ 小坂財産区特別会計(第1号)

● その他
◆ 知識経験を有する者のうちから選任する監査委員の選任につき同意を求めることについて



監査委員

熊谷 勝与 氏

【任期】令和4年1月1日から
令和7年12月31日まで